

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成29年10月3日（火）

第60回（第9期第4回）江東内部河川流域連絡会を開催



会議の様子

- ・「第60回（第9期第4回）江東内部河川流域連絡会」を、午後2時00分から午後4時00分の約2時間、江東区総合区民センター 7階 第5会議室にて開催しました。
- ・都民委員16名、行政委員14名が参加しました。
- ・江東内部河川整備への要望について資料を用いた説明と行政・都民委員からの情報提供が行われました。その後意見交換を行いました。

議題及び情報提供

1. 江東内部河川整備への要望（横十間川外）について

- ・今年度新たに始める工事、最近始めた工事、これから始める工事についてイメージ図等を用い説明しました。
- (1) 横十間川の整備イメージ
- ・人々が行きかう河川、船が行きかう河川、自然を感じられる河川といったコンセプトに基づいて、猿江恩賜公園の前から整備を進めます。
- (2) 小名木川、仙台堀川
- ・小名木川と仙台堀川の耐震工事について説明をしました。
- (3) 扇橋閘門
- ・閘門の運用を停止して躯体や閘室の壁の補強等の工事に着手しました。この後に管理棟の工事を発注します。外閘工事は平成 31 年度になる見込みです。

【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆旧中川へは、荒川ロックゲートを通らないと入ってこられないということか。
- ◇荒川ロックゲートを通して旧中川へ入っていただくということになります。
- ◆1年半位使えないということですね。
- ◇予定では平成 31 年 3 月まで閘門を閉鎖する予定です。
- ◆小名木川の墨田区側を歩いて閘門まで来られるようにして欲しい。
- ◆単なる機能的な閘門でなくて親しまれる閘門になって欲しい。
- ◇側道は、もう少し先の検討となります。公園と閘門施設の空間利用は、管理者と調整しているところですが、24 時間開放には管理上の問題があります。

2. 江東内部河川の PR 方法について

- ・生まれ変わった江東内部河川ということで、様々な場所で PR 活動をしています。
- ・河川事業者としては治水が最も大切ですが、周りの住民の方々や広く都民の方々に来ていただける川づくりも目指しています。
- ・旧中川や小名木川の散策地図を行政機関の窓口や鉄道駅に置いています。
- ・年間を通じて江東内部河川で催されるイベントで昔と今の江東内部河川の変わり様等を見たいと思っています。
- ・もっと PR するため、イベント等を活用しなければならないと思っています。

【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆お金のかかることだが、親子を募集して江東内部河川を歩く、船で遊覧する等といった企画をされたらどうか。
- ◇何か工夫をして、できる所から実現していきたいと思います。
- ◆人を呼ぶ企画として、河川の岸のところにプールのようなものを作ったらどうか。

◆江東内部河川のスカイツリーの下に和船を置いて、和船を見せたらどうか。

◇テレビで紹介されると急に人が増えるということがあります。最近、テレビドラマの舞台に旧中川沿いが使用され、映像として放送され非常にうれしく思いました。

3. 横十間川散策路撤去工事のお知らせについて

- ・江東区による木製の散策路の撤去工事と一部鋼製部分の撤去、照明設備の撤去の工事発注先が決まりましたので、本村橋から大島橋の間の西側の散策路部分を今年度撤去いたします。
- ・工事開始から東京都による修景工事が終わるまでの間、散策路を通行止めとします。
- ・また上流の散策路の無いところは、両岸工事を行います。
- ・この工事は全て水上施工で行うため、航路を狭めることとなります。
- ・工事実施の周知のために、区報での告知、現地に周知看板を立てる、現地でお知らせを配布するといった対応をしました。



【意見交換】

◆工事は、西側が終われば東側で行うのか。

◇次は、大島橋からクローバー橋までの間の西側の鋼製の通路を撤去する予定です。その後、東側の工事に着手します。

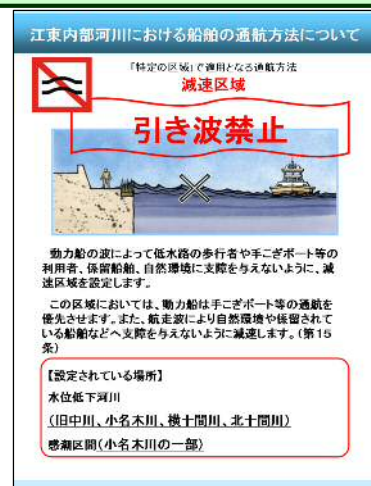
◆色々な遊び場所を船で辿って行けるようになりたいという希望を持っている。猿江恩賜公園等は植栽がきれいなので、川から上がってお弁当を食べるといったことができれば良い。

◇恩賜公園の前は、今のところ船着き場等の計画はありません。防災船着き場については、横十間川に4箇所作ることが東京都の計画の中で位置づけられています。設計は終わっていませんので、東京都と江東区で検討させていただきます。

◆都民委員 ◇行政委員

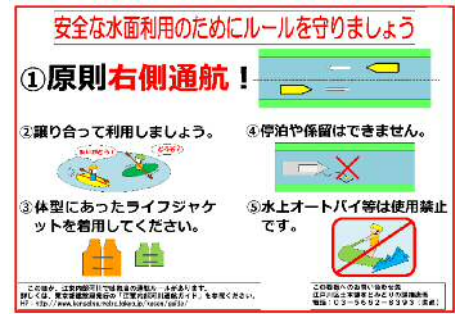
4. 江東内部河川通航ルールの周知について

- ・荒川ロックゲートができることにより動力船等が入ってきてボート練習等の方に迷惑がかかることを予想し、平成18年の開通前に通行ガイドを作りました。
- ・具体的にどのような規制があるかを絵入りで説明し、規制の箇所を規制の種別とともに図面で示しました。
- ・このルールに基づく規制は、河川の各所にも掲示しています。
- ・引き波禁止を周知するため、通航ガイドに基づいた張り紙を旧江戸川、新中川、亀島川、堅川に貼り出しました。



した。

- ・江戸川区では、改めてルールを周知しようということで、旧中川の江戸川区側2箇所看板を立てました。
- ・定水位河川では全て減速区域、手漕ぎ優先です。大横川の黒船橋の辺りは上空高注意区域で、今のところ減速区域になっていません。
- ・安全にカヌー利用ができるようにするための注意喚起の工夫がないか江東区と相談をしています。



【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

◆近年、桜まつりがテレビ等で紹介されたためか、和船やカヌーがゆっくり通航していたところに一般の船が多く来るようになり、我々が原則を促す注意をしても聞いてもらえない状況がある。事故が起きる前に、標識を設置する等の対策が必要だ。

◇通航ガイドを作成した時、ボート会社やマリーナに民間のものを含め通行ガイドを配布して周知を図りました。遠くから来られる方は、ここの事情をご存じないので、このような問題が起きているのだと思います。しばらく検討のお時間をください。

5. 委員からの情報提供

(1) 「江東水彩都市フォーラム 2017」について

- ・地域性の強い催しです。作られた護岸等は、与えられたものですが、それを自分たちでどう使いこなすか、どうやって夢を育てていくかといったことを考える会です。
- ・運河ルネッサンス協議会という会が中心となって、9月30日に3,000人を集めたお祭りが催されました。このような催しをとおり地元地域を含め広くアピールしていこうとしています。



【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

◇事前登録をせずに現地に行っても参加できますか。

◆はい、何かアイデアを持って参加してください。

(2) 「夜の水彩カフェテラス」について

- ・川の駅のロックゲート側の眺めは絵画のようなので、絵画のような雰囲気をイメージしたライトアップを行い、そこでワインや焼き鳥を提供するカフェテラスを9月24日限りですが開店しました。
- ・準備期間が短かったので、ご連絡がほぼできておりませんが、ナイトクルーズは満席になり乗船した方はほぼ感激していました。



【意見交換】

◇来年も実施されますか。

◆今後、多くの人、もの、お金を集めて開催できればと思っています。

(3) 「江東区カヌー協会」について

- ・9月24日に亀戸・大島カヌー倶楽部合同ツアー・扇橋閘門通航納めを行いました。
- ・水彩フェスタに砂町カヌー冒険 CLUB がカヌー教室を主催して参加、深川カヌー倶楽部は、黒船橋から扇橋閘門経由スカイツリーまでの往復ツアーを行いました。
- ・加盟クラブは亀戸、大島、砂町、深川で、豊洲にもできます。
- ・江東区のカヌークラブは地域貢献型なので、地域のためにカヌー教室を行うことや地域のイベントに参加します。
- ・障害者カヌーへの取り組みを行っており、東京パラリンピックに向けて選手が練習をしています。
- ・サップ利用者のマナーに問題を感じています。どのように注意喚起をしたらよいかが課題となっています。



(4) 「江戸写し絵で船遊び」について

- ・結城座が、内閣官房オリンピック・パラリンピック推進本部事務局からの委託を受け、平成29年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査として実施します。
- ・10月2日には隅田川・桜橋の屋形船の上で写し絵を行いました。10月3日は、旧中川テラスで行います。
- ・事前に募集した200名の席は埋まったと聞いていますが、堤防からでも十分見られます。
- ・この催しの継続はまだ決まっていないとのことです。



(5) 「新川あさ市」について

- ・新川のあさ市は、22日に新川さくら館の方へ行けば誰でも参加できる催しです。和船への乗船も可能です。



(6) 「すみだ未来会議」について

- ・墨田区在住、在勤者が区への提案ができる場としてヒューチャーセッションズという催しを今年度から始めました。
- ・墨田区の内部河川は知名度が低いので、もっと身近に内部河川を感じていただくためのセッションになればと思っています (10月9日墨田区役所で開催予定)。



(7) テレビ放映について

- ・東京都は、各種都政の広報番組を持っていますが、その一つとして東京 MX に東京ジョブズという 5 分間番組があります。
- ・毎週水曜日 21 時 55 分からで、10 月 4 日、11 日、18 日、25 日は、河川について広報します。

6. ご意見・感想等

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆両国再開発で新設される水辺センターの内容を分かる範囲で教えて欲しい。
 - ◇敷地を民間事業者に 50 年定期借地し新たな建物を造り、下層階に水上バス乗り場と保育園を作り直します。上層階は、民間事業者がホテル等を運営する予定です。事業が始まったところですので、ご紹介できる段階になりましたらご紹介させていただきます。
- ◆墨田区立両国公園の貯水池で賄う非常時の飲料水の給水量は区民の 2 日分程度（50 万人分）と聞いたが、非常時の飲料水の供給について、どのような考えを持っているのか。
 - ◇給水の 50 万人分というのは、地域防災計画に掲載されているものだと思いますが、河川の水をろ過して賄うという話は、墨田区の仕事ではないと思います。
 - ◇災害時の給水のため、応急給水槽というものを水道局が作っています。災害の想定が分かりませんので、どの程度確保すれば安心できるのかは難しいところです。
- ◆北十間川の整備に伴い、墨田公園の南の端の高木は全て伐採すると HP に掲載されていたが墨田区から見解を聞きたい。
 - ◇公園の樹木について、樹木に覆われて暗いとか河川沿いの鉄道高架下の開発と公園に一体感が無ければいけないという意見もありますが、全て樹木を切るものではありません。実施設計において、専門家が伐採樹木の選別を行っているところです。
- ◆扇橋閘門が閉鎖されたことに伴って、江東内部河川における動力船や観光船への影響を教えてください。
 - ◇ある舟運業者からは、閘門が閉まってしまうと経営的に辛いと聞いています。
 - ◇10 月 1 日に閉まってまだ 3 日なので、様子が分かりません。情報が入りましたら、お伝えできる範囲で情報提供したいと思います。

流域連絡会の今後の予定

今回は、1 月頃に予定したいと考えています。